



きなぎっせ

九州中央病院広報誌「第53号」2012年4月
日本医療機能評価機構認定病院 九州中央病院

〒815-8588 福岡市南区塩原三丁目23番1号 TEL 092-541-4936(代) FAX 092-541-4540



「平成24年4月採用 臨床研修医」

基本理念 病んでいる人の人権を尊重し、健やかで心豊かな社会をつくるための医療を提供します。

基本方針	Progressiveness	常に向上心を持ち何事にも積極的に、前向きに対処する
	Hospitality	医療される方々の立場に立った、満足の得られる医療を行う
	Superiority	質の高い、高度な医療を目指す
	Rationality	合理的で、無駄のない医療、および医療経営を行う

目次

平成24年度を迎えるにあたって	2	登録医療機関一覧	8
地域医療連携室・相談支援センターよりお知らせ	3	防火防災訓練	10
腎センターを新設しました	4	南警察署よりお知らせ	11
登録医紹介	6	外来診療担当医表	12
連携病院紹介	7		



平成24年度を迎えるにあたって

公立学校共済組合九州中央病院
病院長 飯田 三雄

平成22年4月に病院長に就任して以来、早いもので2年が経過しました。この間、「地域の中核医療機関として」、また公立学校共済組合の「職域病院として」の役割を果たすべく、とくに「がん診療」と「救急医療」の充実に向けて重点的に取り組んできました。平成22年4月に福岡県より「がん診療拠点病院」の指定を受け、同年5月にHCU（11床）、9月にはICU（10床）の稼働を開始しました。さらに平成23年4月より、休診していましたが泌尿器科を再開、また新たに腎臓内科を開設し、本年2月からは4階病棟を改修して「腎センター」を設置、入院患者の血液透析を開始しました。

このように、病院長就任後の2年間は就任時に掲げた6つの中長期目標の実現に向けて努力して参りました。すなわち、(1) 地域医療支援病院として課せられた役割を果たす、(2) 職域病院として、組合員のニーズに合った健康管理事業を実施する、(3) 長期的に安定した経営を維持する、(4) ゆとりを持って働ける職場環境を作る、(5) 臨床教育病院としての体制を整備する、(6) 病院の特徴を明確にし、ブランド化を図る、の6項目です。就任3年目にあたる平成24年度も、引き続きこの中長期目標達成に向けて種々の取り組みを継続していきたいと考えています。

現在、早急に取り組まなければならない課題として、老朽化・狭隘化が著しい病棟の建て替えが挙げられますが、昨年共済組合本部の運営審議会において病棟改築の基本構想・基本設計が承認されました。今年度より実施設計に着手し、平成26年末には完成の予定ですが、地域住民や共済組合員のニーズに合致したすばらしい新病棟を作りたいと考えています。

目標(1)に関連して、現在外来患者の削減に取り組んでいます。高血圧を手始めとして地域連携パスを整備し、病診連携を積極的に推進しています。目標(2)については、健康管理センターにて人間ドックと連携した特定保健指導を積極的に行うとともに、平成21年10月に開設したメンタルヘルスセンターにおいて福岡市の教職員7500人に対し「メンタルヘルス調査」を実施しました。今後はさらに他県の教職員にも調査対象を広げていく予定です。目標(3)については、幸い平成22年度は過去最高の経常利益を計上することができ、平成15年度から続いている黒字経営を8年連続に伸ばすことができました。平成23年度も経営状態は順調であり、黒字が見込まれています。目標(4)については、昨年より保育所の整備や看護業務の見直しなど、「ゆとりある病院づくりプロジェクト」を立ち上げています。目標(5)に関しては、四国中央病院など他の共済組合病院と連携して臨床研修体制の一層の充実を図っていく予定です。目標(6)については、冒頭で述べたごとく、現時点では「がん診療」と「救急医療」の更なる充実を目標にしていきたいと考えています。

九州中央病院では、平成24年度も上述の目標達成に向け職員一丸となって取り組んでいくとともに、安心・安全かつ良質な医療を提供できるように精一杯努力していく所存です。

今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

平成24年4月

～人工透析をはじめたら～

透析治療は長い期間続き、一度の時間も長く、日常生活や社会生活の面でも、費用の面でも、心配し不安を感じる患者さんやその家族が多くいらっしゃいます。ここでは、透析治療の費用についてご案内します。

透析治療を始められた患者さんは、まずは加入している健康保険(保険証)の協会や組合、もしくは市町村の国民健康保険の窓口「**特定疾病療養受療証**」の交付手続きに行きましょう。これにより、透析治療にかかる自己負担は月に1万円(70歳未満の上位所得者は2万円)となります。ただし、同じ月でも入院と外来はそれぞれ別々に適用され、複数の病院や医院の診療費を合算して計算することはできません。

あわせて、「**身体障害者手帳**」を申請すると、手帳の等級と所得額によっては障害者を対象にした自立支援医療制度の対象になります。透析以外の診療費、例えば耳鼻科受診や歯科への通院も対象になりますので、診療費負担がかなり軽減されることとなります。腹膜透析には欠かせない透析液加温器も日常生活用具として手続きすれば購入費用が助成されます。詳しい内容につきましては、お住まいのある自治体におたずね下さい。また、生活保護受給中の方は、「**身体障害者手帳**」と「**自立支援医療(じん臓)**」の申請が必要です。

手続きのしかた

- 1 「特定疾病療養受療証交付申請書」を加入している健康保険者よりもらいます。(社会保険加入者は勤務先の会社の健康保険組合、または社会保険事務所から)(国民健康保険加入者や後期高齢者医療制度加入者は市町村から)
- 2 病院窓口へ提出し、医師の証明欄に証明を受けます。
- 3 各健康保険者(交付申請書をもらったところ)へ提出します。
- 4 「特定疾病療養受領証」が交付されます。
- 5 今までの保険証と「特定疾病療養受領証」を病院窓口へ提示します。

※旅行等で別の病院や医院で臨時透析を行う場合も必要です。

ご質問等ございましたら**地域医療連携室・相談支援センター**でおたずねください

腎センターを新設しました

はじめに

平成23年10月1日より赴任した腎臓内科部長の水政です。今回、腎臓内科を開設し、これに伴い平成24年2月1日より腎センターを新設しました。腎センターでは、血液透析患者、腹膜透析患者の治療・管理を行います。これらに関して簡単にご紹介いたします。

I. 血液透析(HD)

当院は、セントラル型透析器8台、個人用透析器2台を保有し、感染症対策用隔離室を1室設けています。月水金の午前より1シフト制でHDを施行します。HDの導入、急性腎不全時のHD、HD患者さんが様々な合併症で入院した時の透析管理を主に行ってまいります。血液透析濾過や処方透析にも対応し、患者さんの病態に合わせた治療が可能です。外来での通院維持血液透析は行っていませんが、将来的には施行していく計画です。

透 析 器 透析監視装置(セントラル)8台(東レ TR3000M)、個人用透析器2台(日機装DBG-03)

感染症対策用隔離室 1室

透 析 モード HD ○・HDF ○・HF ○・on line HDF ×

透 析 日 月水金午前、1シフト制

V A 手 術 適宜可能

P T A 適宜可能(アンギオ装置1台)

外来血液透析 不可



血液透析室



感染症用隔離室

II. 腹膜透析(PD)

診察室を2室設け、バッグ交換室、待合室も設置しています。PD患者さんは自己管理が重要であり、透析導入前から勉強や指導を受けられるようにビデオ、パンフレット等も閲覧できるよう配慮しています。診察スペースを広く設定し、接続チューブ交換等の処置も診察室で可能です。

診察室2室(1室は処置用として主に使用)



PD外来



診察室



バッグ交換室

バッグ交換室
あり
(同時に3名まで可能)

シ ス テ ム
バクスター社、テルモ社

P D 外 来 日
水曜午前、午後
木曜午前、午後

Ⅲ. その他

腎臓内科では、検尿異常(蛋白尿、血尿)から急性腎障害、慢性腎臓病に関しても外来で診療を行います。腎臓疾患は、他の臓器以上に早期発見が重要であり、より早く診断・治療を開始することにより、腎機能障害の進展を阻止することを目標として挙げています。

看護師より

腎センター開設にあたり、外来から看護師長1名、副看護師長1名と看護師3名の計5名が配属となりました。看護スタッフは透析室のみならず、外来、病棟、救急医療の現場での様々な経験をもっておりますので、合併症を有する患者さんにも細かいケアが提供できると思っております。安全管理、感染対策はもとより、患者さんのスムーズな受け入れや転院に対する体制も整えております。

看護サービスとしましては、安全で快適な透析環境を提供するとともに、当院の看護理念である「怨」～思いやり～を大切に、患者さんに対してきめ細やかな個別の対応ができることを目標としています。

腎センター看護師長 山田朋子

臨床工学技士より

九州中央病院腎センター開設にあたり、平成24年1月より臨床工学技士は2名増員され、計4名となりました。男性3名、女性1名で、いずれもHD管理に関して十分な経験を積んでいます。HDを安全に行うには、純度の高い水を用いた透析液の調合・製造、透析器の操作と管理が重要です。近年では、血液透析の心臓部とも言えるダイアライザの進歩は目覚ましく、患者さんの尿毒素の除去効率が向上している一方で、より純度の高い透析液が必要不可欠となってきています。私たちは、専門的な知識のもとで十分な水質管理と透析器の管理を行っていただけるものと自負しています。さらに、九州大学第2内科腎臓研究室の先生方と培ってきた技術のもとに、安全な透析手順を遵守するとともに長時間透析の有用性を認識し、治療の基本理念としています。また、様々な合併症で入院された患者さんに対して、きめ細やかな処方透析にも対応できる体制を整えています。

さらに、近年では包括的腎代替療法の概念から、もうひとつの大きな柱であるPDに関して臨床工学技士の役割が重要視されてきており、接続機器やサイクラーの保守点検も今後は積極的に行っていきます。患者さんが安心して透析療法を受けられるように、チーム医療の一員として支持していききたいと考えています。

医療技術部ME機器管理科 総括主任 小野健一

おわりに

腎センターでは、医師、看護師、臨床工学技士のみならず、薬剤師、検査技師、ソーシャルワーカー、栄養士、医事課等さまざまな職能とチームを作り、週1回透析カンファレンスを行い、患者さんの治療方針や今後の生活の指導を行っていきます。入院された際は患者さん、医療関係者ともども遠慮なくご質問、ご要望をお聞かせください。



登録医の先生ご紹介



山口整形外科医院

- 登録医名** 山口 登
- 住 所** 〒812-0893 福岡市博多区那珂3-11-15
- 電話番号** TEL 092-411-3205 FAX 092-482-8756
- 診療科** 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科
- 診療日** 月火水木金 9:00~12:30 14:00~18:30
土 9:00~15:00 日・祝日は休診

当院は博多区の筑紫通り、那珂中学校交差点角にあります。昭和43年に開業し、44年が経過しました。九州中央病院、特に整形外科には手術の必要な患者様をお願いしております。その後、転院入院にてリハビリテーション加療をさせて頂いております。さらなる高齢化社会に向けて地域医療に邁進する所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



福岡労衛研診療所

- 登録医名** 河野 仁志
- 住 所** 〒815-0081 福岡市南区那の川1-11-27
- 電話番号** TEL 092-526-1035 FAX 092-526-8473
- 診療科** 内科・(婦人科)
- 診療日** 月~土 9:00~17:00
(原則、第2,4土曜日・日曜日・祝日は休診)

当院是那の川四ツ角の南東500mに位置する公益財団法人福岡労働衛生研究所の附属診療所です。常勤・非常勤のスタッフで定期健診、人間ドック、がん検診【胃、大腸、肺(低線量CT)、乳腺、子宮、等】、特殊健診などを行っています。よろしくご依頼致します。



医療法人光生会 かなざわクリニック

- 登録医名** 金澤 光乗・金澤 尚満
- 住 所** 〒811-1364 福岡市南区中尾3-37-20
- 電話番号** TEL 092-551-3883 FAX 092-541-3838
- 診療科** 内科・消化器科・外科
- 診療日** 月火水木金 9:00~12:30 14:00~18:00
土 9:00~13:00

当院は昭和41年に有床診療所として開設し、現在は消化器を中心に内科疾患から外科の小手術まで、地域のかかりつけ医として幅広く診療を行っています。九州中央病院の先生方には、内科系、外科系問わず精密検査や治療で大変お世話になり、感謝しております。

連携病院のご紹介



医療法人 春成会 樋口病院

登録医名 松村 順

住 所 〒816-0833 春日市紅葉ヶ丘東1丁目86番地

電話番号 TEL 092-572-0343 FAX 092-572-7760

医療法人春成会 樋口病院 院長 松村 順

この度は、九州中央病院連携病院紹介への掲載の機会を頂きありがとうございます。また日頃より医療連携のご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

昭和61年に当院は、地域に密着した医療業務の第一歩をこの地に踏みだしました。昨年、病院開設25周年を迎え春日市における中核的な病院として成長したと自負しております。今日までこの地で医療を提供することができたのも地域の皆様、近隣の医療機関からのご支援のおかげだと思っております。

当院は内科を中心とした一般病院ですが、外来では糖尿病外来、睡眠時無呼吸症候群外来、禁煙外来も行っております。また地域医療連携室（ソーシャルワーカー）と併設しております訪問看護ステーションを中心に、老人保健施設等との連携を図り地域医療が円滑に進むようにしております。

更なる地域医療への貢献度を高めるため、病院として医療機能の充実を実現するために腎臓内科外来を開設致しました。それに伴い人工透析センターが平成24年末に完成予定です。また入院中はもちろん、在宅復帰を支援するためのリハビリを充実すべくリハビリテーション科の施設・人員共拡充のため、現在リハビリ棟の改築を進めています。



リハビリ棟

在宅復帰された方をはじめ、継続的なりハビリが必要な方の支援を実現するために、通所リハビリセンター（名称：デイケアセンターなでこ）と居宅介護支援事業所（名称：医療法人春成会ケアプランサービス）を平成24年9月に開設致します。

超高齢化社会が進む現代において病気は複雑化し、またその質も変化しています。その変化に対応すべく、安心・良質の医療が提供できる病院機能の充実とスムーズな地域医療連携が実現できる地域に根差した病院づくりを行ってまいります。

今後とも宜しくお願い致します。



デイケアセンター

診療科 内科・循環器内科・消化器内科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・腎臓内科・放射線科・リハビリテーション科

病床数 一般病床60床（うち亜急性期病床10床）

ホームページ：<http://www.higuchi-hosp.or.jp>

登録医療機関一覧 No.2 - ①

南区つづき

大里腎クリニック
おおはし内科循環器科医院
千鳥橋病院附属 大楠診療所
にしだ眼科
三井島内科クリニック
みやにし整形外科リウマチ科

博多区

ピーエスクリニック
さく病院
池之上内科
石橋内科医院
石橋内科循環器科医院
林整形外科医院
遠藤内科クリニック
おおた内科・泌尿器科クリニック
大月内科循環器内科
小野病院
籠田医院
蔵本ウィメンズクリニック
瀬田クリニック福岡
さわさき眼科
シグマクリニック
スガ歯科医院
住吉外科クリニック
副島内科クリニック
竹田内科医院
つくしクリニック
にしやま内科
博多駅東クリニック
博多レディスクリニック
濱整形外科医院
平橋内科医院
福岡心身クリニック
福嶋クリニック
藤木整形外科・内科・循環器科クリニック
古寺内科医院
勝治耳鼻咽喉科医院
大島眼科病院
村上胃腸科内科クリニック
メンタルクリニック倉掛
山下司内科クリニック

友田病院
ゆうあいデンタルクリニック
永野病院
亀田内科クリニック
友愛病院
原田医院
山口医院
山口整形外科医院
小堀ビル内科クリニック
成田整形外科病院
石田内科循環器科医院
藤原脳神経外科クリニック
梅野小児科内科医院
博多南ビル内科クリニック
武井内科クリニック
野田医院
高岸小児科医院
くまクリニック
こもたクリニック

中央区

三宅内科クリニック
井上内科医院
入江内科医院
占部医院
エイチ・シー・ユー たけとみクリニック
眼科かわさき貴子クリニック
大串クリニック
オガタ眼科クリニック
緒方良神経科クリニック
岡部・浦川クリニック
小野内科クリニック
かわのキッズ・クリニック
九州医療センター
清沢眼科医院
クリスタルビルクリニック
吉村内科
けご病院
上月クリニック
こがクリニック
坂本内科医院
桜坂中央外科医院
桜坂内科循環器科
桜坂皮ふ科クリニック

登録医療機関一覧 No.2 - ②

迫内科循環器科クリニック
産科・婦人科ガーデンヒルズウィメンズクリニック
下野クリニック
莊田レディースクリニック
杉野敬子眼科クリニック
スポーツ・栄養クリニック
整形外科浄水通りクリニック
はちすが産婦人科小児科医院
田代外科整形外科医院
たてわき内科クリニック
田中内科クリニック
胃腸科藤クリニック
堤病院
鄭脳神経外科クリニック
天神町診療所
天神光安整形外科クリニック
徳山内科クリニック
内科循環器科末松医院
なかむら内科クリニック
西村胃腸科
野崎ウィメンズクリニック
博愛会病院
皮ふ科・アレルギー科佐藤えみこクリニック
平田内科胃腸科クリニック
平野医院
ひろた内科クリニック
広瀬病院
福泉医院
ふじの内科胃腸科クリニック
別府外科医院
まえだ眼科医院
増田クリニック イムズ内科・胃腸科
宮城脳神経外科クリニック
桃源堂薬院高橋皮ふ科クリニック
森内科循環器科医院
守永クリニック
薬院内科循環器クリニック
山本内科胃腸科クリニック
池田バスキュラーアクセス 透析・内科クリニック
福岡腎臓内科クリニック

城南区

安藤病院
さくら病院

片桐クリニック
金谷内科クリニック
佐田整形外科病院
元気が湧く Kid's 歯科とび
高宮外科内科医院
武元内科クリニック
にしのクリニック
長尾病院
ひまわりデンタルクリニック
古野セントマリアクリニック

東区

貝塚病院
香椎原病院
九大仏青クリニック
古賀医院
三善病院
箱崎公園内科医院
すが耳鼻咽喉科
たけした耳鼻咽喉科
箱崎ふ頭歯科
原土井病院
松本内科循環器科医院
八木病院
犬塚内科小児科医院
宮崎内科クリニック

早良区

池田整形外科クリニック
おがた整形外科医院
牟田病院
南條内科胃腸科クリニック
にのさかクリニック
原澤循環器科・内科クリニック
吉田産婦人科

西区

青木内科循環器科小児科クリニック
早良病院
白十字病院
ときつ医院

平成 24 年 4 月 1 日現在

防火防災訓練

3月1日、7病棟の食堂を火元と想定した防火防災訓練を南消防署と合同で行いました。初期消火、患者さんの避難誘導、通報連絡等、職員は真剣に訓練に取り組んでいました。実際に災害が起きた際、職員がどのように動いたら良いか改めて確認することができました。



▲ レスキュー隊による救助活動



はしご車による救出 ▲



▲ 歩行困難な患者さんの護送



▲ 防災センターへ通報



屋内消火栓による消火 ▲



◀ 消火器による消火

～南警察署からのお知らせ～

生活安全課 防犯係 092-542-0110 (内線263)

オレオレ詐欺とは

オレオレ詐欺とは、息子などを装って電話をかけ、借金や会社のトラブルなど様々な名目で現金が至急必要であるかのように信じ込ませ、現金を振り込ませるなどの手口による詐欺の事です。

犯人がよく使うセリフ

「電話番号が変わった」
「会社の金を使い込んだ」
「カードを預かります」



架空請求詐欺とは

架空請求詐欺とは、架空の事実を口実に金品を請求する文書を送付するなどして現金を振り込ませるなどの手口による詐欺の事です。

犯人がよく使うセリフ

「アダルトサイトの利用料金が未納」
「支払いがなければ民事裁判を起す」



防犯ポイント

- ◆ 日頃から、この手の電話がかかってきた場合の対応を家族で話し合っておく。
- ◆ お金の振り込みを要求する電話は、「詐欺だ」と思う。
- ◆ 一旦電話を切り、番号変更前の携帯電話に電話して必ず本人に確認する。
- ◆ 少しでもおかしいと感じたら、すぐに警察や家族に相談する。

防犯ポイント

- ◆ 利用していない料金は支払う必要がない。
- ◆ 身に覚えのない請求は、無視をする。
- ◆ 不用意に記載されたり告げられた連絡先に電話して、個人情報を教えない。
- ◆ 小額訴訟制度を悪用した手口もあるので、裁判所から「口頭弁論期日呼出状及び答弁書催告状」が送付されてきたら実際の裁判所を電話帳で調べて、問い合わせる。

融資保証金詐欺とは

融資保証金詐欺とは、融資を受けるための保証金名目で現金を振り込ませるなどの手口による詐欺の事です。

犯人がよく使うセリフ

「保証人がいないなら保証金を振り込んで下さい」
「事務手数料を振り込んで下さい」



還付金等詐欺とは

還付金等詐欺とは、社会保険事務所などを装い、医療費の還付などに必要な手続きを装ってATMを操作させて現金を振り込ませる手口による詐欺の事です。

犯人がよく使うセリフ

「医療費の還付金を振り込みます」
「コンビニのATMに行って着いたら電話を下さい」



防犯ポイント

- ◆ やみ金業者を利用しない。正規の業者が融資前に現金の振り込みを要求することはない。
- ◆ 自分に有利な話を信用しない。
- ◆ 知らない他人の口座に簡単に現金を振り込まない。

防犯ポイント

- ◆ 税務署や社会保険事務所など公的機関が、還付金受け取りのためにATMの操作をあなたにさせることはない。
- ◆ 税金や保険料の納付のために、金融機関の口座を指定して振り込みを求めることはない。
- ◆ 相手の言う電話番号や部署などを鵜呑みにせず、電話帳等で地元の税務署や社会保険事務所等を確認して問い合わせる。

九州中央病院専門外来診療担当医表

◎新患もしくは再来 ○再来

科	専門分野	氏名	月	火	水	木	金	責任者
内科	総合内科	達川政文		◎	○			●
		小森彩佳	◎			○		
	糖尿病内科	五島大祐	○		○	◎	○	●
		井元博文		○	◎	○		
		小山可南子	◎				○	
	消化器内科	檜沢一興	◎		○			●
		畑田鉄平					◎	
		工藤哲司			◎		○	
		守永 晋		◎		○		
	循環器内科	富永光裕	○	○	◎			●
		大森 将		○(午後)		○(午後)		
		鍵山俊太郎	◎			○	○	
		河野 修				○		
		前淵大輔			○		◎	
	脳血管内科	竹迫仁則		○		○	◎	●
		由比智裕	○		◎			
	肝臓内科	東 晃一	○	○		◎		●
	呼吸器内科	古藤 洋	○	○		◎		●
		中島信隆			○		◎	
	腎臓内科	水政 透		◎			九大	●
長柄 仁						◎		
PD外来	水政 透			完全予約	完全予約		●	
心療内科・アレルギー科	十川 博	予約	予約	予約	予約	予約	●	
	山城康嗣	予約	予約	予約	予約	予約		
禁煙外来：月・水午後	十川 博	完全予約		完全予約			●	
精神科	精神科全般	非常勤	○ 14~17時			○ 9~17時	○ 9~13時	
外科	消化器外科	北村昌之	◎			○		●
		梶島 章			○		◎	
		長谷川博文		○		◎		●
		中村俊彦	○		◎			
		北川 大		◎			○	
		橋本直隆	○			○		
	呼吸器外科	庄司文裕		○			○	●
	血管外科	(九大:岡留)				○		

科	専門分野	氏名	月	火	水	木	金	責任者	
乳腺外科	乳腺外科	寺本成一	◎	◎	手術日	◎	◎	●	
産婦人科	婦人科	有働俊啓	◎	◎	◎	◎	◎	●	
		脊椎・一般	有働 剛	◎		◎	◎	◎	●
	脊椎・一般	井口明彦			○	◎	◎		
	膝・外傷・一般	濱田貴広	◎	◎		○			
	関節外科・外傷・一般	深川真吾	◎				◎		
	関節外科・外傷・一般	熊丸浩仁	◎				◎		
整形外科	関節外科・背椎・外傷・一般	今村隆太		◎	◎				
	関節外科・外傷・一般	小宮山敬祐						○(午後)	
	リウマチ・一般	時任 毅			○(午後)			○(午後)	
	形成外科	形成外科一般	西平智和	◎	◎	◎	◎	手術日	●
皮膚科	皮膚科一般	菊池智子	◎	11時まで	◎	手術	◎	●	
		見明 彰	◎	11時まで	◎		◎		
		宇佐川祐子	◎	11時まで	◎		◎		
泌尿器科	泌尿器科一般	関 成人	11時まで	◎	◎	手術日	◎	●	
		村上知彦	11時まで	◎	◎	手術日	◎		
眼科	眼科一般	長谷川裕平	手術日	◎	◎	11時まで	◎	●	
		小林義行	手術日	◎	◎	11時まで	◎		
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	澤津橋基広	◎	手術日		◎	11時まで	●	
		片岡和子	◎	手術日	◎		11時まで		
		藤 翠		手術日	◎	◎	11時まで		
脳神経外科	脳神経外科一般	松本健一	◎	◎	◎		手術/PM九大	●	
		空閑太亮				◎	手術/PM九大		
放射線科	放射線診断一般	花田清彦	◎	◎	◎	◎	◎	●	
		平田 文	◎	◎	◎	◎	◎		
		亀井遼太郎	◎	◎	◎	◎	◎		
麻酔科	麻酔・ペインクリニック	八島典子	◎				◎	●	
歯科 口腔外科	歯科口腔外科一般	堀之内康文	予約	予約			予約	予約	●
		新田秀一	予約	予約			予約	予約	
		小野田慈美	予約	予約			予約	予約	
		杉 友貴	予約	予約			予約	予約	

	月	火	水	木	金
胃透視	工藤	畑田	守永	檜沢	花田
内視鏡	守永	檜沢	畑田	工藤	檜沢
	畑田	工藤	檜沢	畑田	守永

(平成24年4月1日現在) 変更の可能性があります。

■ 一般新患・再来の受付時間 8:30~11:00

■ 紹介状ご持参の方 8:30~12:00 (下記以外)

ペインクリニック：月曜日・金曜日	8:30~10:30
泌尿器科：月曜日	8:30~11:00
皮膚科：火曜日	8:30~11:00
眼科：木曜日	8:30~11:00
耳鼻咽喉科：金曜日	8:30~11:00

■ 時間外の受付

時間外・夜間・土曜・日曜・祝祭日ならびに
年末年始(12/29~1/3)は、救急外来で対応
致します。

地域医療連携室への連絡 (医療機関からのみ)

代表電話 (092) 541-4936

TEL(フリーダイヤル) 0120-541-995(直通)

FAX(フリーダイヤル) 0120-541-990(直通)

ホームページ <http://kyushu-ctr-hsp.com/>

〒815-8588

福岡市南区塩原三丁目23番1号
公立学校共済組合九州中央病院
病院長 飯田 三雄

A 外来受診・入院・緊急入院の受付

平日(時間内)

・地域医療連携室受付

時間外・土・日・祝祭日の緊急受診と緊急入院

・時間外受付……………代表電話

B 歯科口腔外科の受付

平日(時間内)

歯科口腔外科予約・フリーダイヤル 0120-541-998

C 検査依頼の受付(平日)8:30~17:00

放射線科検査 CT・MRI・RI・骨密度・内視鏡・超音波

・検査受付…フリーダイヤル 0120-541-996

D 心療内科・アレルギー科/禁煙外来

・心療内科・アレルギー科・代表(内線2210)

心療内科新患：月・水・金 午前中(予約制)

編集後記

新年度がはじまり、何かと周りの変化をする季節となりました。また同時に気持ちを新たにしていく時期でもあります。私たち編集委員も、皆様に有益な情報をお伝えできるよう気持ちを新たに頑張っていきたいと思っております。

広報誌編集委員会



九州中央病院広報誌「きなざっせ」第53号

編集：広報誌編集委員会発行：飯田三雄

URL:<http://kyushu-ctr-hsp.com>